

# 2023年10月期末決算説明資料

---

株式会社CAICA DIGITAL(2315)

2023年12月20日

01	概要	03
02	2023年10月期末決算	09
03	中期経営計画	18
04	トピックス	27
05	Appendix	35

01

# 概要

02

2023年10月期末決算

03

中期経営計画

04

トピックス

05

Appendix

# 会社概要

商号	株式会社CAICA DIGITAL
事業内容	グループ会社の管理運営
設立	1989年7月14日
所在地	東京都港区南青山五丁目11番9号
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 山口 健治
資本金	654百万円
連結売上高	5,408百万円
決算期	10月
上場市場	東京証券取引所スタンダード
主幹事証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券

主要子会社	
商号	株式会社CAICAテクノロジーズ
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>- システムインテグレーション業務</li> <li>- ITサービス業務</li> <li>- Web3関連開発業務</li> </ul>
設立	2019年10月7日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 鈴木 偉真
資本金	301百万円
商号	株式会社カイクフィナンシャルホールディングス
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Zaif INO運営業務</li> <li>- Web3コンサルティング業務</li> </ul>
設立	2021年11月1日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸
資本金	50百万円

※ カイカ証券は金融商品取引業の廃止に伴い、2023年12月1日付で商号を株式会社EWJ（英語表記：EWJ Inc.）に変更し、現在残務整理を行なっております。なお、本スライドでは呼称をカイカ証券と統一致します。

## 代表メッセージ

当社は「デジタル金融の世界を切り拓く」というミッションを胸に、その実現に向けて挑戦を続けています。

長年にわたる金融システムの構築実績をベースに、ブロックチェーン技術や暗号資産交換所の運営を通して、私たちはデジタル金融の世界で一步先を行くパイオニアとしての挑戦を続けてきました。そして、2022年10月、私たちは新たな挑戦として、Web3事業への参入を果たしました。GameFiにおけるNFTのローンチパッド「Zaif INO」や、法人向けコンサルティング事業の「CAICA Web3 for Biz」の推進を通じて、未来への道を切り拓いています。

また、当社が発行するカイカコインは、上場企業が発行する希少な暗号資産であり、その価値を広めるために新たなビジョンを発表しました。「カイカコインをブロックチェーンにおけるゲームコインに！」を宣言し、ユーティリティの拡大と独自サービスの創出に力を注いでいます。カイカコインはデジタル金融の未来を切り拓く重要なアイテムと位置付け、その可能性を最大限に引き出すために取り組んでいます。

そして、2023年10月に私たちは新たな中期経営計画を発表しました。ITサービス事業と新規事業の成長により、2024年10月期から2026年10月期までの3カ年に、年平均約13%の成長を目指します。これは、当社が未来においても挑戦し続ける企業であるためにも必達の計画であり、持続的な成功を築く決意を示しています。

最後に、私たちの成功には、株主様、お客様、コラボレートする企業様のお力添えが欠かせません。皆様と共に明るい未来への旅を共有し、成長し続けたいと考えています。デジタル金融の未来を切り拓くミッションを遂行するために、私たち役職員は一丸となって進んでまいります。

CEO代表取締役社長 鈴木伸





# 事業構造の抜本的な見直し

CAICA DIGITALは「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、暗号資産交換所Zaifやカイカ証券をはじめ、様々な形態の金融サービス業を行ってまいりました。

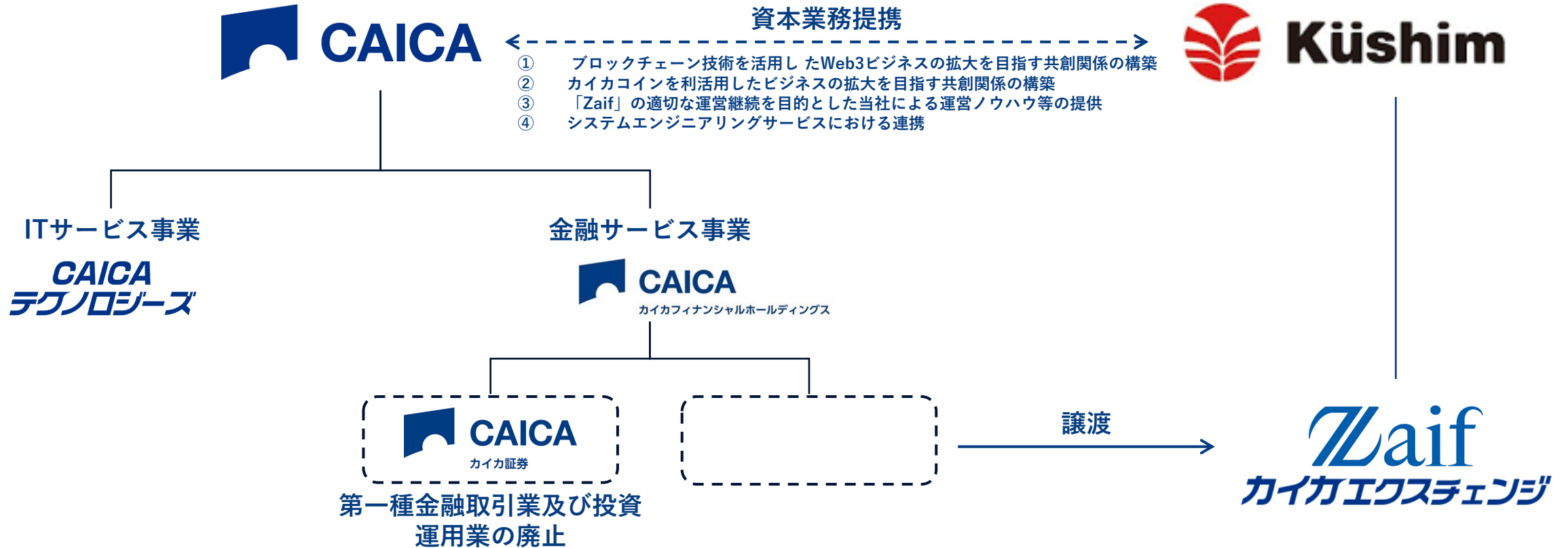
しかし市場環境の変化など多くの要因により当初期待した収益を得られなかった結果、2023年10月期を以て事業譲渡や廃業により一部金融サービスの運営から退くことと致しました。

2024年10月期以降は従来より堅調であったITサービス事業を軸に赤字体質からの脱却、売上の拡大を目指し、業績の改善を図ってまいります。

また現在までに培ったノウハウを武器に引続き「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、Zaif INOの運営やカイカコイン等のWeb3分野におけるサービスといった事業も継続してまいります。

# 金融子会社の再編と新たな資本業務提携

金融サービス事業の損失の主要因となっていた暗号資産交換所Zaifの運営を行う株式会社カイカエクスチェンジ※1を株式会社クシム(2345)に対して2023年10月31日付で譲渡しました。またカイカ証券株式会社※2につきましても現在、第一種金融取引業及び投資運用業の廃止を致しました。一方、株式会社クシムより出資を受けることにより資本業務提携を締結しました。



1. カイカエクスチェンジホールディングス、カイカキャピタルも含まれます。  
 2. 関係会社 EWARRANT INTERNATIONAL LTD.、EWARRANT FUND LTD.の事業縮小も含まれます。

# 販管費削減に伴う収益体質の再構築

金融サービス事業のZaif譲渡及び、カイカ証券の廃業に伴い、2024年10月期以降、販管費約2,200百万円<sup>※1</sup>が連結から除外される予定です。

## Zaifの譲渡、カイカ証券の第一種金融商品取引業廃止に伴う業績への影響に関して<sup>※2</sup>

売上高	増加見込み <sup>※3</sup>
販管費	販売管理費約2,200百万円 <sup>※1,4</sup> を削減の予定
営業利益	販管費の削減に伴い、2024年10月期 <sup>※5</sup> より順次営業収支が正に転じる想定

## 販管費大幅削減の影響により、常態的に営業収支がプラスとなる体制を構築

- 2023年10月期の通期予想概算をもとに算出しております。現在Zaifの譲渡及びカイカ証券の第一種金融取引業廃止に伴う会計処理を行っており、増減する可能性があります。
- カイカエクステンジホールディングス、カイカキャピタル、EWARRANT INTERNATIONAL LTD.、EWARRANT FUND LTD.を含みます。
- 2023年10月期に対して、Zaif及びカイカ証券が連結から外れることによる売上高の減少は軽微の見通しです。なお連結売上高にITサービス事業の金融サービス事業(主にZaif)に対するシステム開発が内部取引から外部顧客への売上高に振替えられるため連結売上高は増加の見込みです。また金融サービス事業のシステム開発からリソースを再分配することにより外部顧客からの売上高が増加する見込みです。
- (参考)2023年10月期の通期予想営業損失は2,378百万円です。
- 2024年10月期中までカイカ証券の第一種金融商品取引業の廃止に伴う支出は継続する見通しです。



01

概要

02

2023年10月期末決算

03

中期経営計画

04

トピックス

05

Appendix

# 2023年10月期 通期連結業績ハイライト

## 売上高

連結売上高**5,408**百万円

前期比 ▲16.05%

## 営業利益

連結営業利益▲**2,378**百万円

## 純利益

連結純利益▲**3,889**百万円

### (業績面)

- 金融サービス各社の不振により営業利益は前期比でマイナスとなる
- ITサービス事業においては、来期以降の売上高拡大を目指し先行投資を実施した結果、営業利益率が低下

### (定性面)

- 金融サービス子会社のZaifを含む暗号資産関連会社3社を譲渡、及びカイカ証券の第一種金融商品取引業、投資運用業を廃業

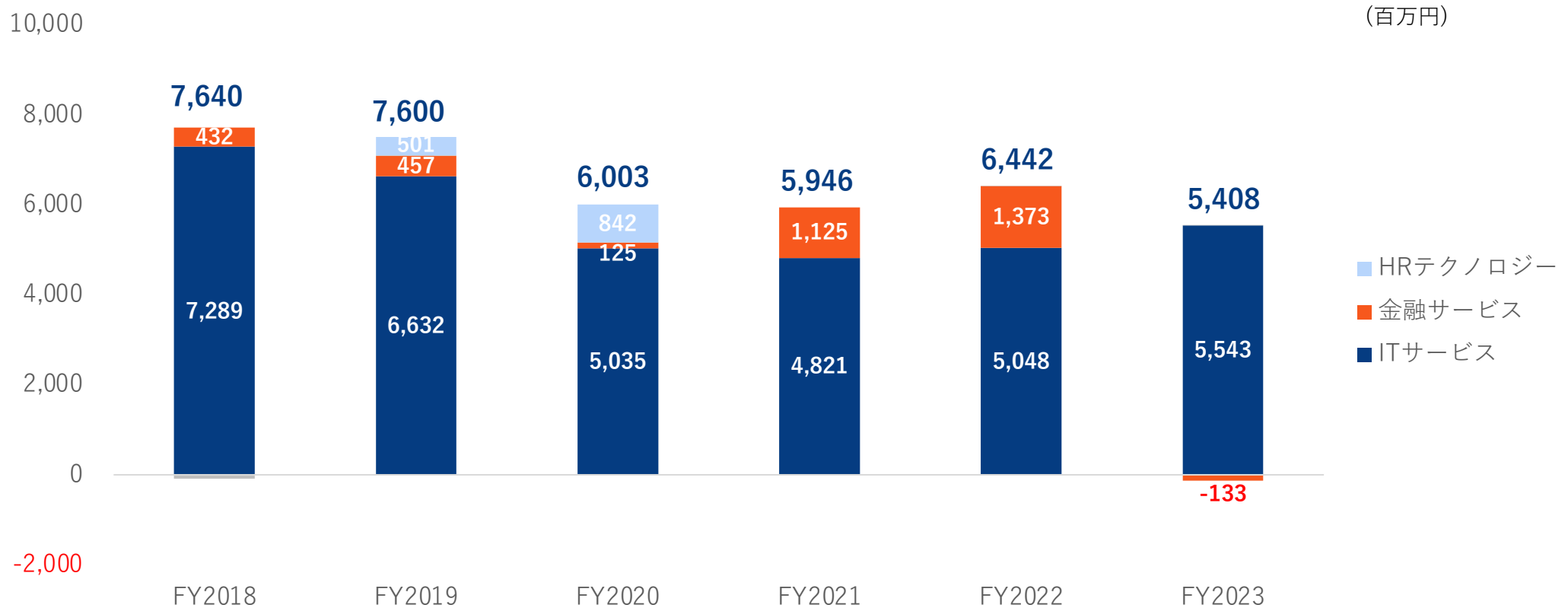
## 2023年10月期 通期連結業績サマリー

金融サービス事業の低迷により、売上高は昨対比で大きく減少しました。同様に金融サービス事業が主要因となり、各段階利益ともマイナス着地となりました。なお子会社カイカエクスチェンジホールディングスの一括のれん償却に伴う特別損失を計上した前期と比較し、最終損失幅は減少しました。

	4Q 2022 累計実績	4Q 2023 累計実績	前期比	
売上高	6,442	5,408	-1,033	-16.05%
売上総利益	2,219	520	-1,698	-
売上総利益率	34.44%	9.62%	-	-
営業利益	-1,389	-2,378	-989	-
営業利益率	-21.56%	-43.98%	-	-
経常利益	-1,395	-2,560	-1,165	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	-6,244	-3,889	2,355	-

# 通期連結売上高※1の推移

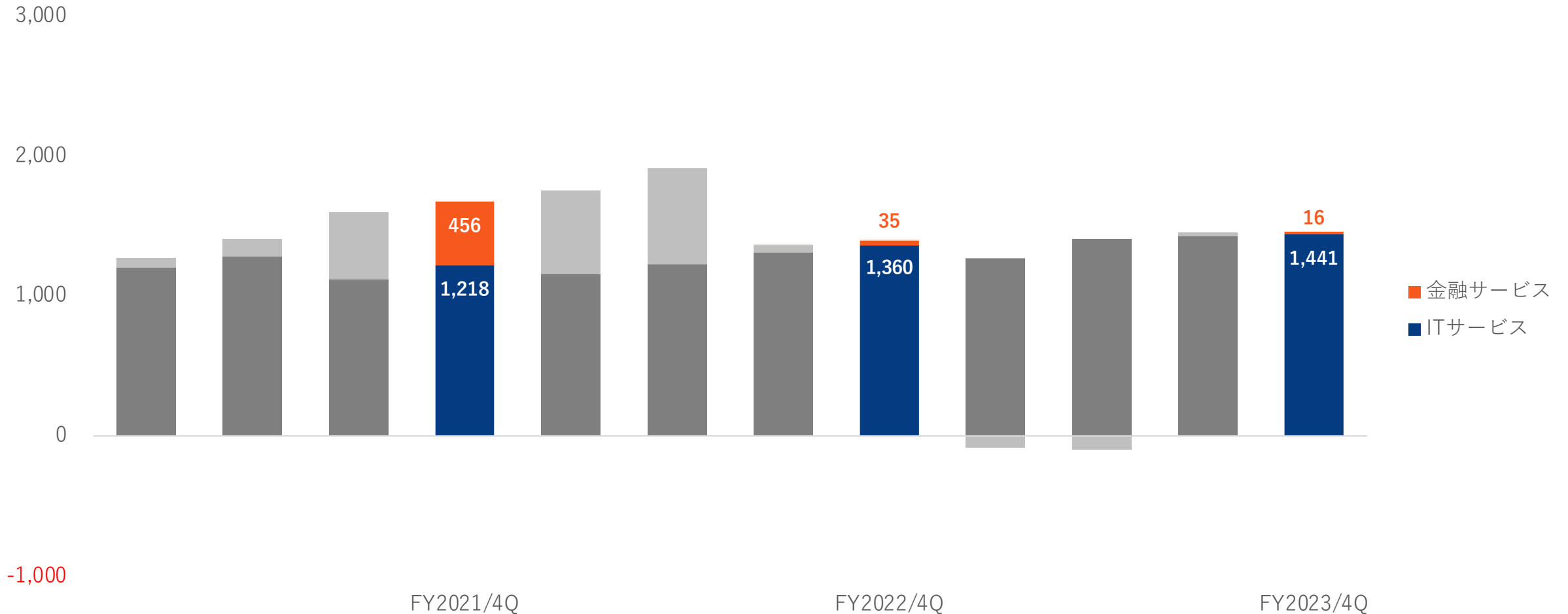
2018年以降「デジタル金融の世界を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、M&Aなどの手段により多様な業態の金融各社をグループ化してまいりました。またITサービス事業の売上は堅調に推移してまいりました。なお、2019年10月期に子会社を売却したことにより、相当分の売上が減少し、ITサービス事業の売上は一部減少しております。



1. FY2018 仮想通貨関連-82百万円、FY2019 仮想通貨関連8百万円、FY2022 その他20百万円を含みます。

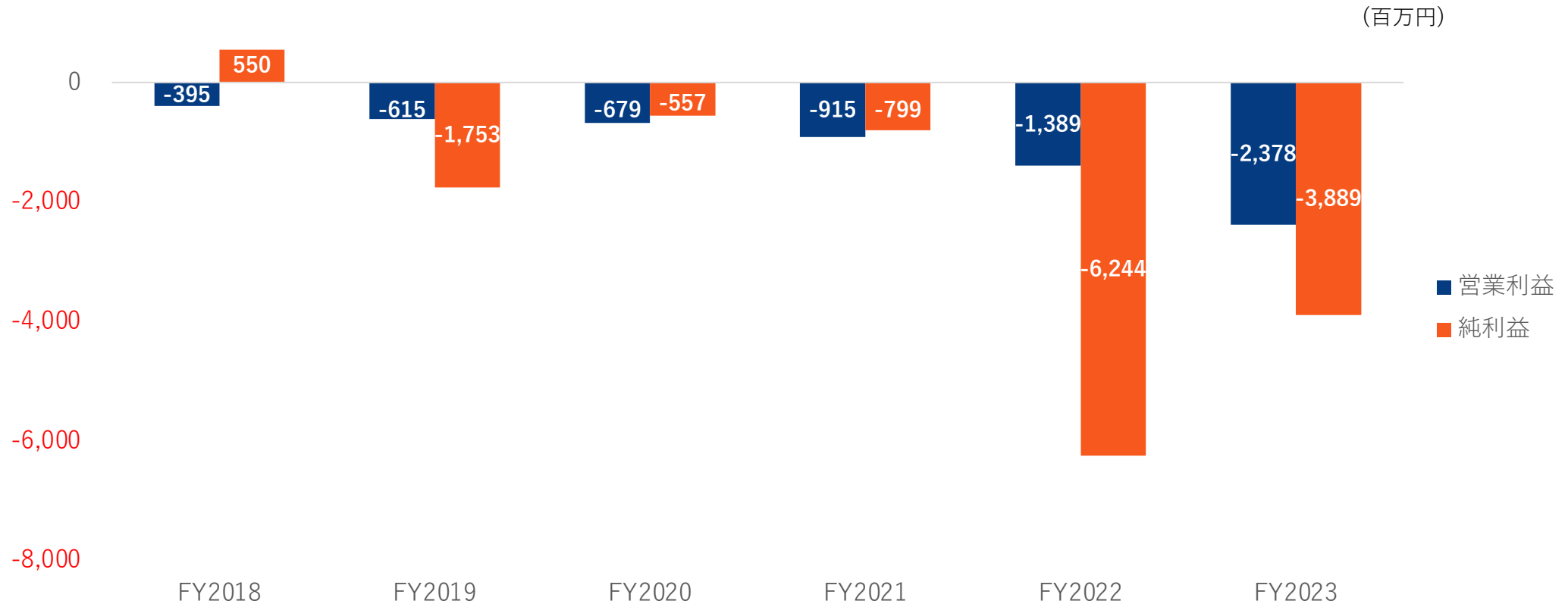
# 四半期毎の連結売上高推移

通期売上高と同様に、いずれの四半期もITサービス事業が売上高を牽引しております。2022年10月期第3四半期以降、暗号資産市場の低迷などの影響により、金融サービス事業による売上高はわずかとなっております。



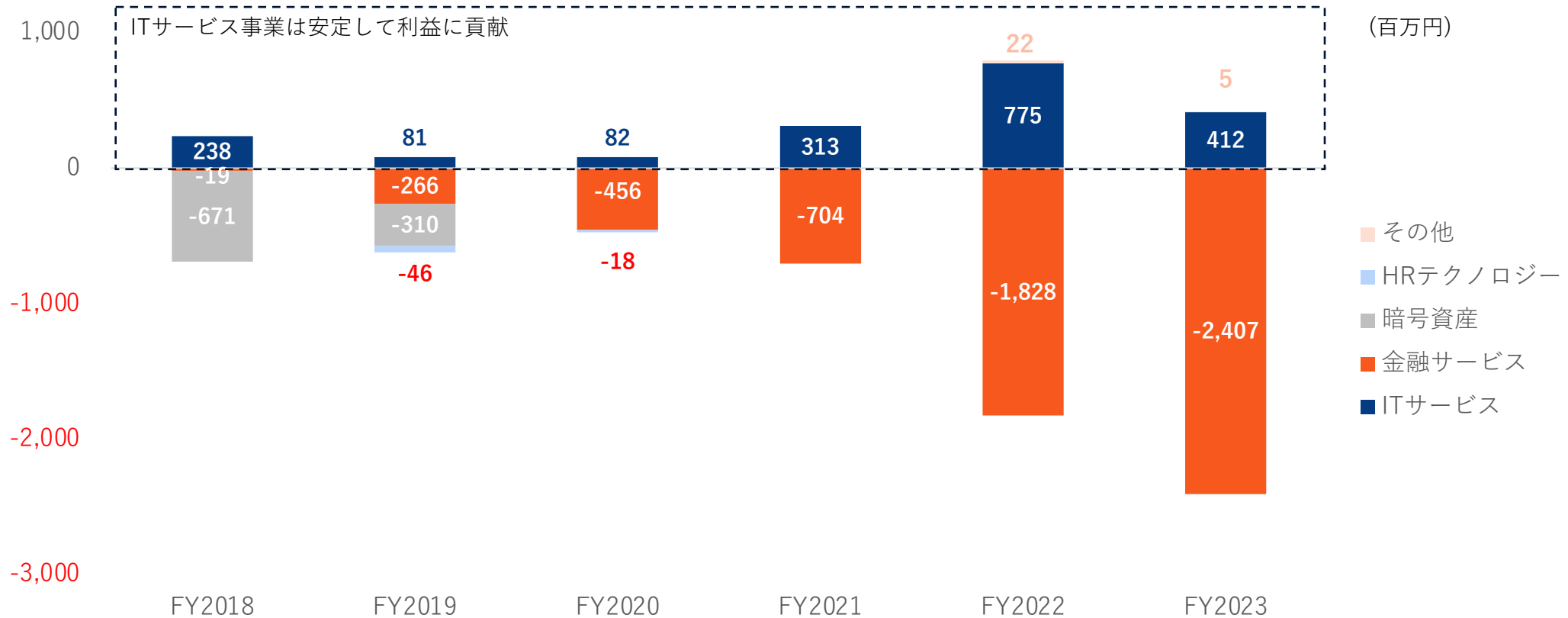
# 連結営業利益及び連結純利益の推移

2022年10月期には同時点で未償却であったのれん(主に暗号資産交換所のZaifが対象)の残高を全額償却したことにより5,126百万円の特別損失が生じ、結果6,244百万円の純損失となりました。また2023年10月期は、金融サービス事業の一部譲渡等に係る関係会社整理損を1,493百万円を特別損失として計上した結果、4,174百万円の純損失となりました。



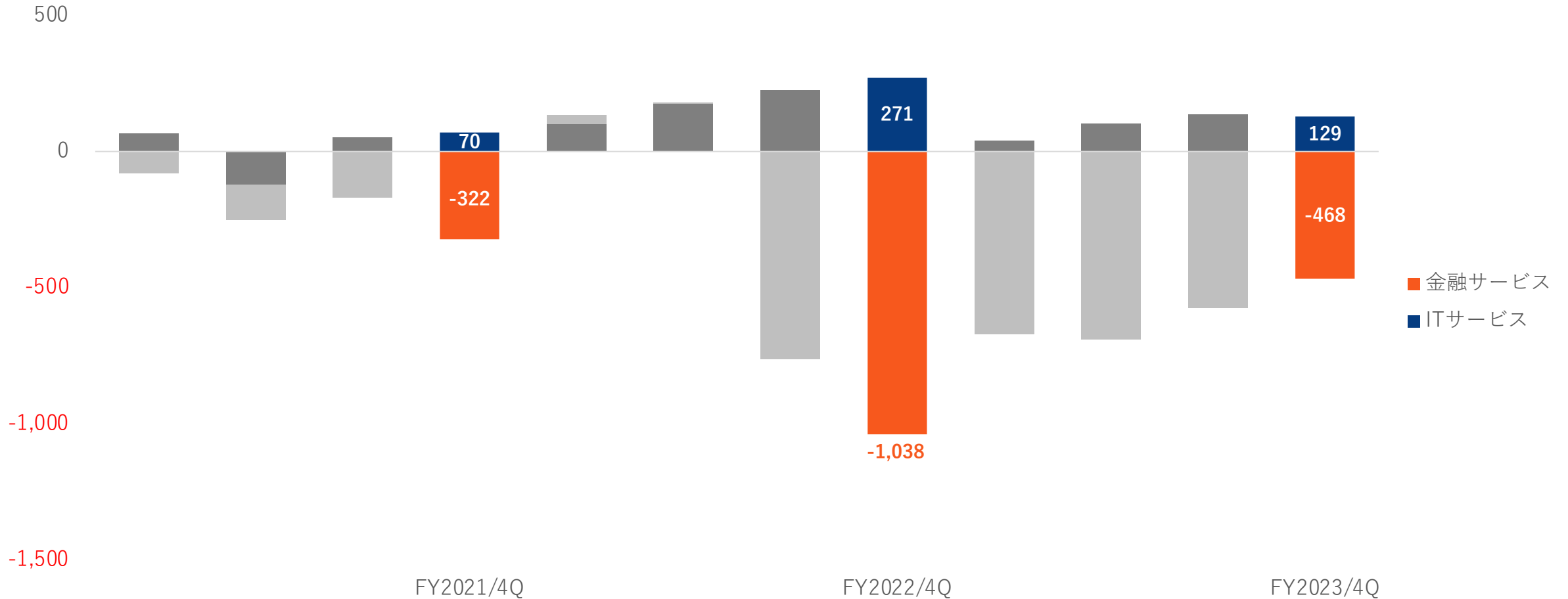
# セグメントごとの通期損益の推移

ITサービス事業により得た資金、及び調達した資金を主に金融サービス事業へ先行投資することで将来のキャッシュフローの最大化を図ってまいりました。一方、暗号資産価格の急落をはじめとした様々な外部要因により当初想定した利益を得ることができませんでした。当期は子会社Zaif及び、カイカ証券の低迷により金融サービス事業で損失を計上しております。



# セグメントごとの四半期損益の推移

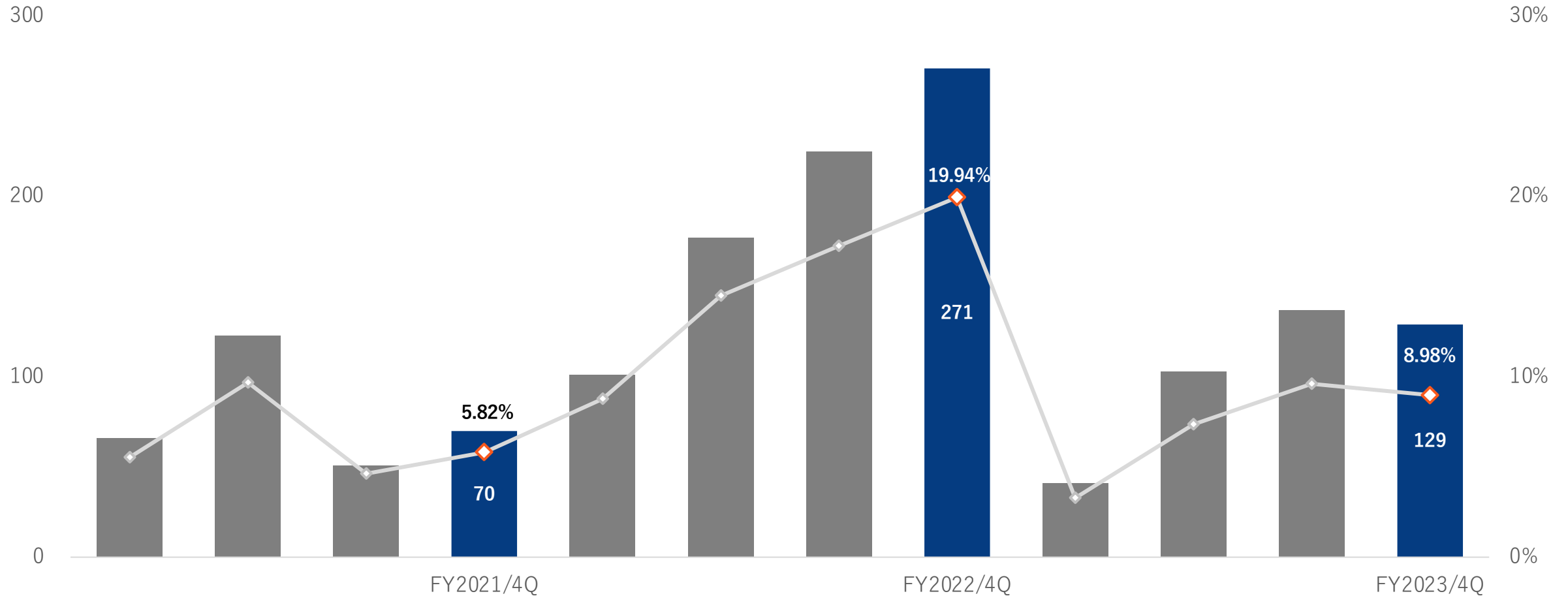
引続きITサービス事業が利益を牽引しております。2023年期第4四半期においては、来期以降の案件獲得のための先行投資、及びパートナー開拓を優先した結果、ITサービス事業の利益は昨対比で減少しましたが、翌期以降の売上高に貢献する見込みであります。





# ITサービス事業の営業利益率推移

ITサービス事業は毎四半期とも安定して収益を計上しております。獲得案件や採用の状況、パートナーの状況に応じて営業利益率は上下する傾向にあります。



01

概要

02

2023年10月期末決算

03

中期経営計画

04

トピックス

05

Appendix

# 中期経営計画ハイライト

2026年10月期  
 連結売上高**7,813**百万円

CAGR13%  
 FY2023年予想比+44.3%

2026年10月期  
 連結営業利益**467**百万円

営業利益率6.0%

2026年10月期  
 ITサービス事業人員**725**人<sup>※1</sup>

一人当たりの売上+8.5%  
 FY2023年比+8.5%

販売管理費約**2,200**百万円減<sup>※2</sup>

1. パートナー人員数を含みます。
2. 2023年10月期の通期予想概算をもとに算出しております。現在カイカエクスチェンジホールディングス、カイカエクスチェンジ、カイカキャピタルの譲渡、及びカイカ証券の第一種金融取引業廃止に伴う会計処理を行っており、増減する可能性があります。

## 中期経営計画サマリー

CAICA DIGITALは今期2023年10月期に事業再編を行い、長期的な成長を見据えて収益体制を再構築してまいります。その一環として3ヵ年業績計画を中期経営計画として開示致します。

「デジタル金融の未来を切り拓く」のスローガンのもと、複数の金融子会社をM&Aにより取得するが、暗号資産市場の低迷や関連規制の強化など、様々な要因により当初想定した利益が得られず

2018年10月期~2023年10月期



安定的に利益を計上していたITサービス事業の伸長を図るとともに金融サービス事業における収支の状況を抜本的に見直し、事業の集中と選択を図る

2023年10月期



ITサービス事業の伸長を図りつつ、金融サービス事業の運営経験を活かしたWeb3事業を展開

2023年10月期~2026年10月期

# 新体制の事業構造と資本業務提携

今後も「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、Web3領域を中心に引続き金融サービス事業の展開を図ってまいります。また株式会社クシムとの資本業務提携の元、引続き暗号資産交換所Zaifとの密な協業を図ってまいります。



# 新しいCAICA DIGITALの体制図

CAICA DIGITALは安定したキャッシュフローを産むITサービス事業を基盤として、「デジタル金融の世界を切り拓く」というミッションのもと、更なるWeb3事業の拡大を図ります。またWeb3コンサル事業「CAICA Web3 for Biz」より、上流工程のSI案件を獲得することにより、ITサービス事業の収益性向上を図ります。

## 金融サービス事業※1



自社サービスの知見を活かしたコンサルティング事業

**CAICA Web3 For Biz**

## ITサービス事業※1

安定したキャッシュフローを産むSI事業

**CAICA テクノロジーズ**

上流工程を獲得し収益拡大のために  
**スクラム体制**を構築

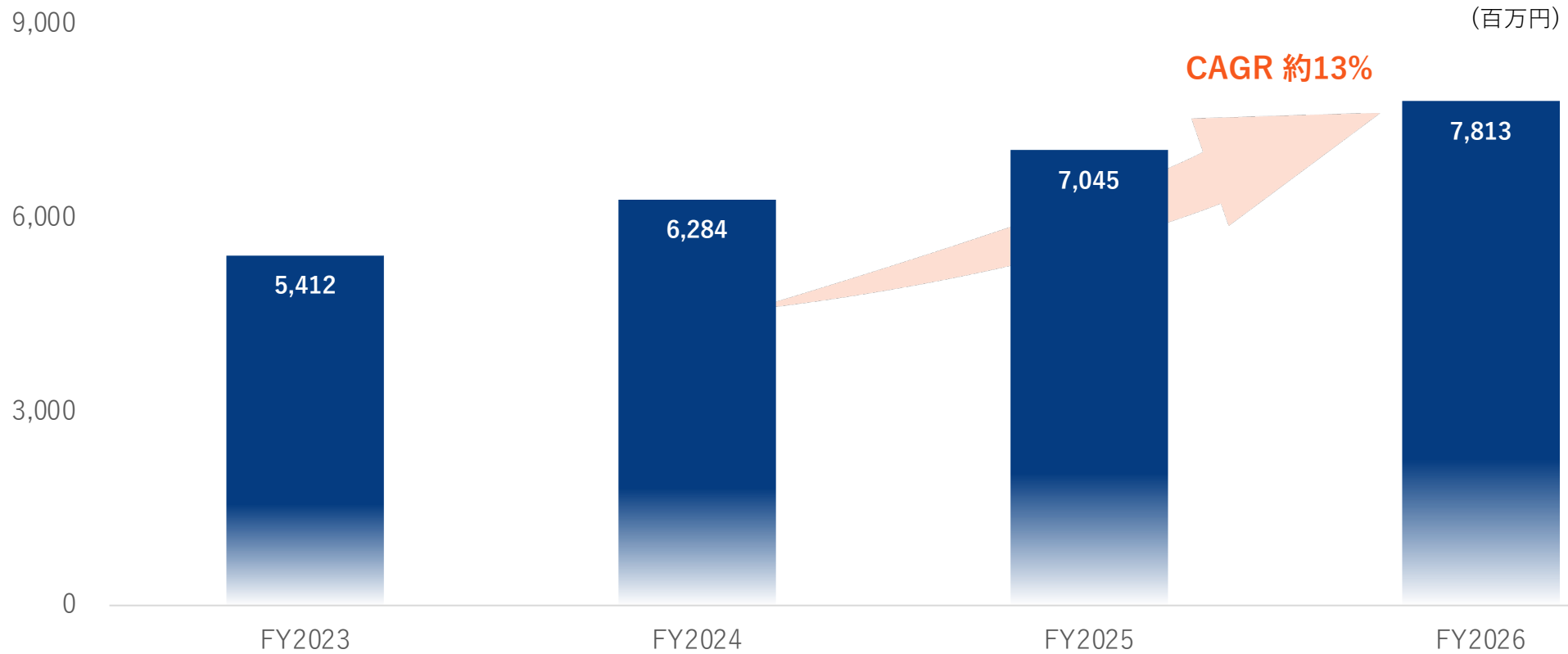
CAICA Web3 For Bizで生じたニーズをSI事業で網羅

**M&A活用による更なる事業拡大**

1. 本スライドにおける「事業」という表現は、有価証券報告書等をはじめとした法定書面上のセグメントとは異なる可能性があります。各サービスのセグメントに関しては今後定めてまいります。

# 連結売上高見通し

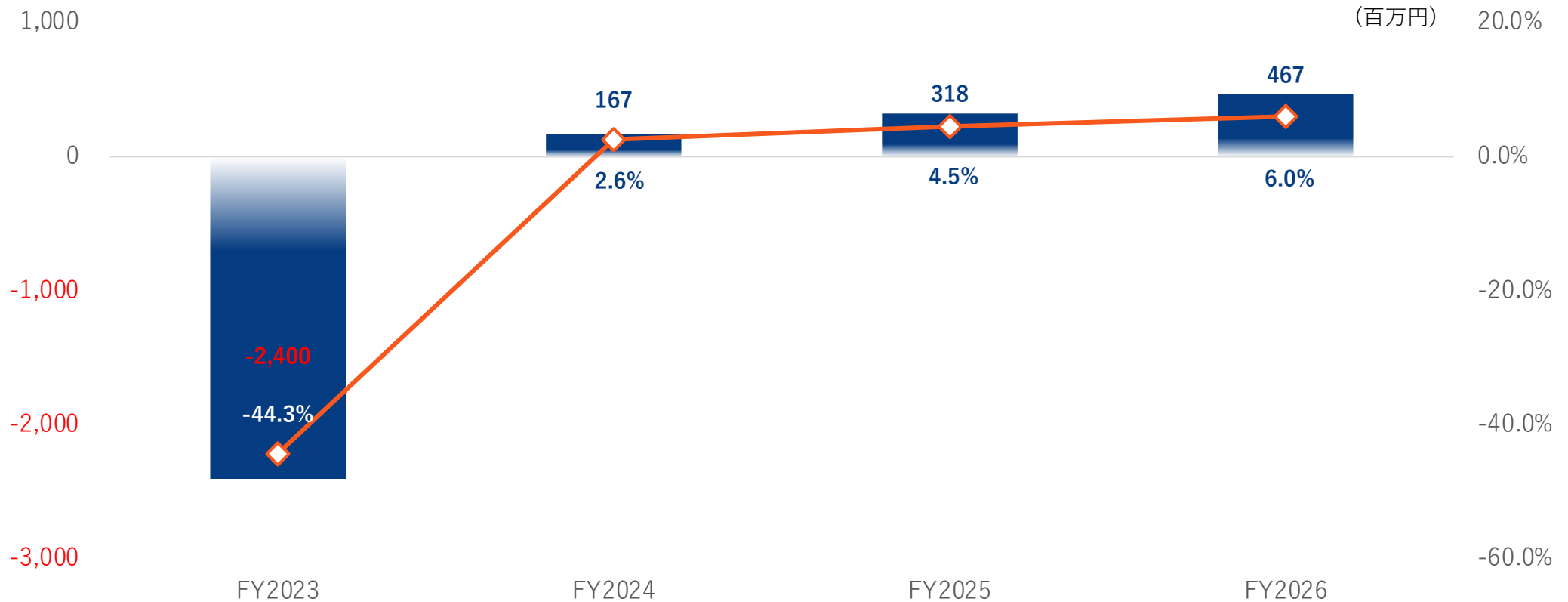
ITサービス事業、及び新規事業の伸長により2023年10月期<sup>※1</sup>～2026年10月期の間に年平均約13%の成長を目指します。



1. 本スライドに記載した2023年10月期の数値は2023年10月16日現在の業績予想数値です。

# 連結営業利益及び営業利益率の推移

2023年10月期<sup>\*1</sup>は金融サービス事業が要因の損失が発生する見通しです。また2024年10月期中も事業の選択と集中に伴うコストが一部計上される見通しであります。2025年10月期より収益化フェーズとなり以降、段階的に収支が改善される見通しです。

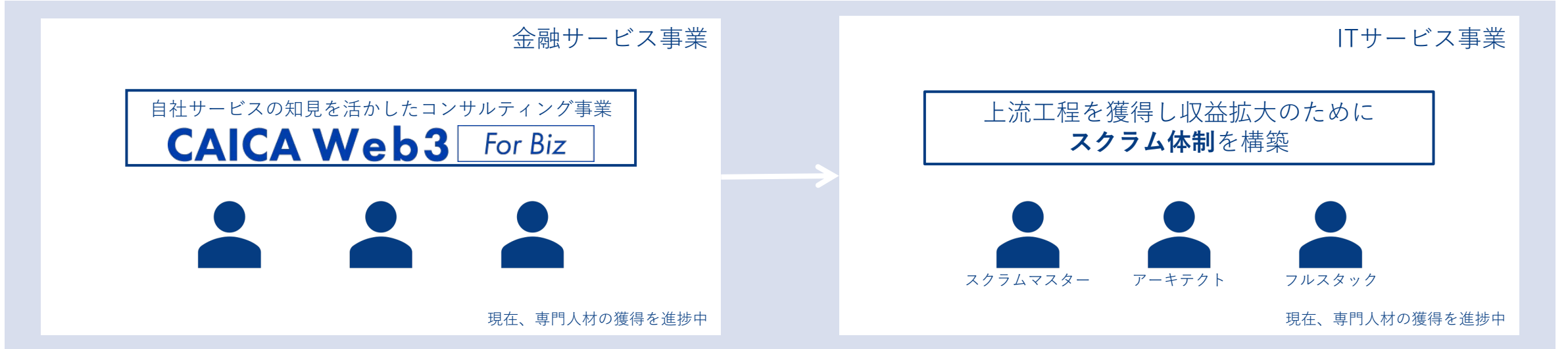


1. 本スライドに記載した2023年10月期の数値は2023年10月16日現在の業績予想数値です。



# IT×Web3により高単価案件を獲得

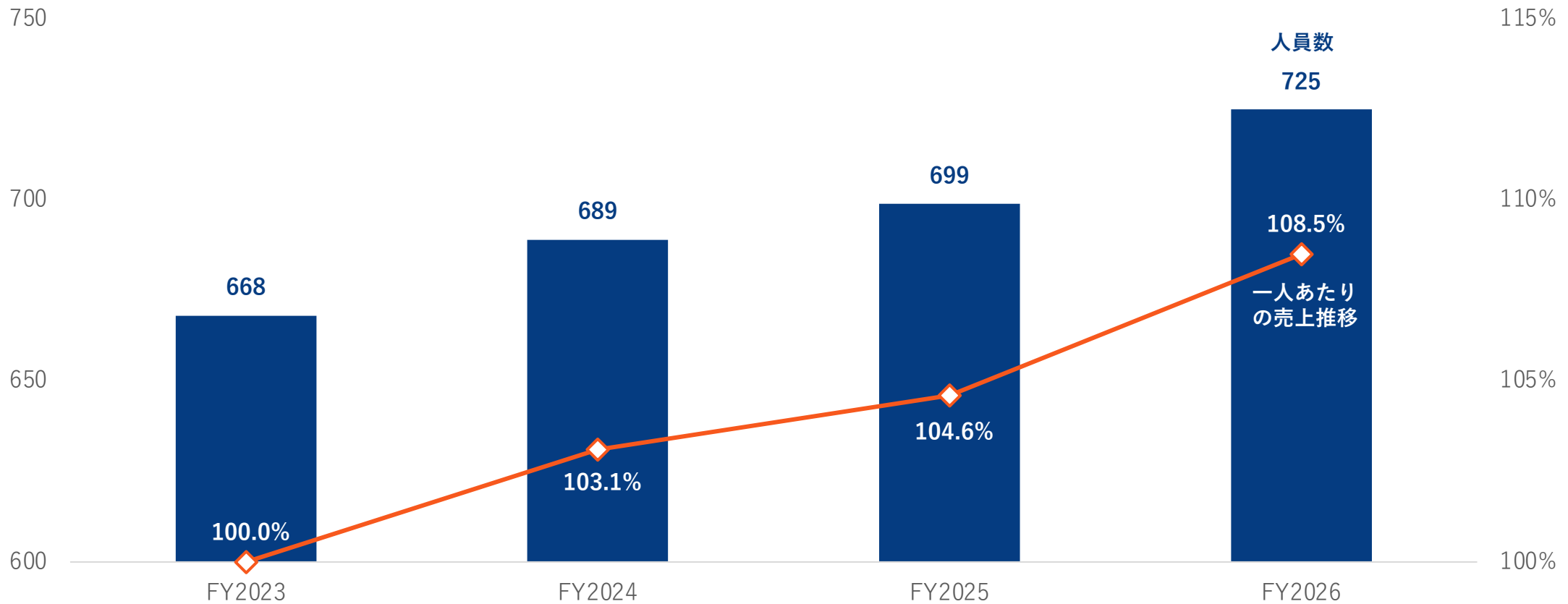
金融サービス事業で培った知見を活かし、ITサービス事業においてもWeb3領域の高単価案件の獲得を目指し利益率の改善を図り、最終年度の2026年10月期には営業利益率を6.0%まで向上させることを図ります。2024年10月期よりコンサル人材、及びハイスペックなエンジニアの採用を進め、専門チームを組成します。



高単価案件を獲得し、将来的に**連結営業利益率6.0%**を目指す

# ITサービス事業の人員<sup>※1</sup>及び人員あたりの売上計画

ITサービス事業では人員の純増と併せて、一人当たりの売上増加を図りセグメント売上の伸長を図ってまいります。2026年10月期までに人員は57人純増の予定であり、一人当たりの売上は8.5%増加する想定です。



1. パートナー人員数を含みます。

01

概要

02

2023年10月期末決算

03

中期経営計画

04

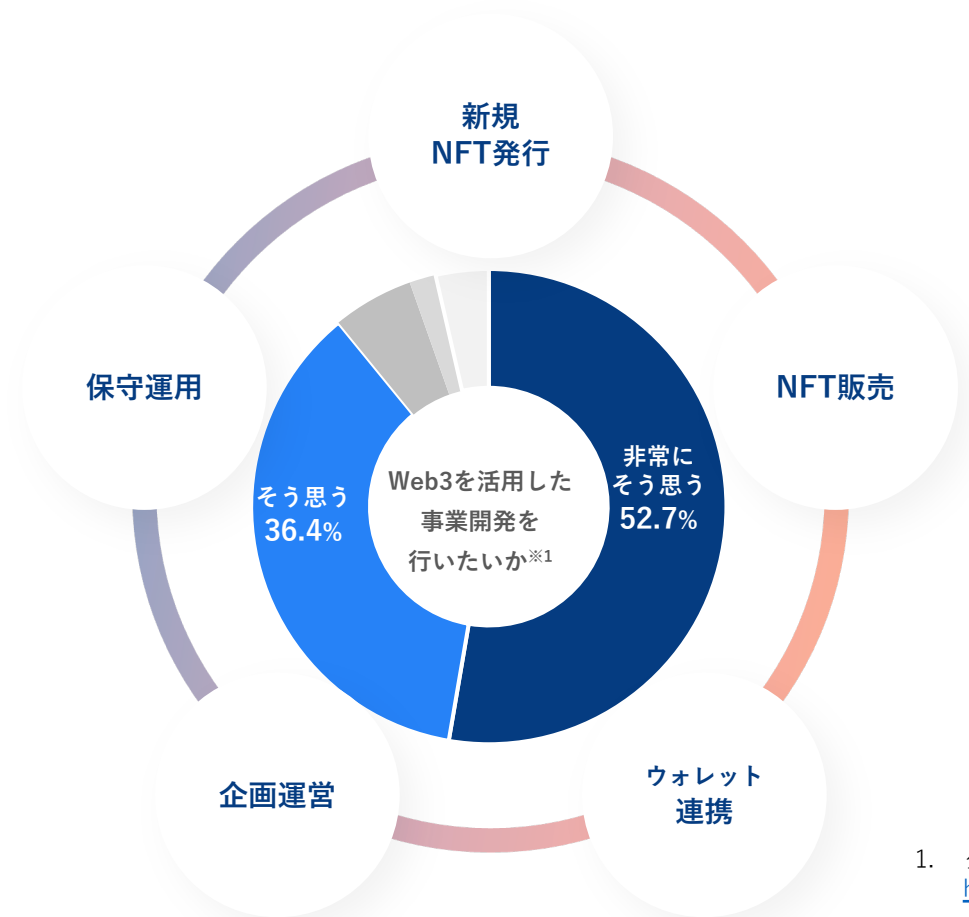
トピックス

05

Appendix

## Web3参入を支援する セミオーダー型NFTマーケットプレイス開発サービスを販売開始

ブロックチェーンゲーム専門のNFTローンチパッド「Zaif INO」、暗号資産交換所「Zaif」の運営ノウハウを活かし、セミオーダー型NFTマーケットプレイス開発サービス提供を開始しました。関心の高いWeb3領域におけるコンサルティング事業の拡大を図ります。



1. クラウドエース株式会社「Web3.0に関する意識調査」を参照  
<https://www.softbanktech.co.jp/corp/hr/recruit/articles/10/>



## 「CAICA Security Training/標的型メール訓練サービス」の販売を強化

サイバー攻撃の手口が多様化する中で標的メールの開封を未然に防ぐための従業員リテラシー向上プログラムの引き合いを多数いただきました。特設ページ開設や営業強化、販売パートナーの開拓などにより、今後更なる事業拡大を図ってまいります。



01 訓練メール送信

03 開封状況分析

04 教育コンテンツ作成

06 報告書作成



02 訓練メール受信

05 社員教育実施

07 改善活動実施



2023年9月25日

## カイカコインに関するお知らせ

カイカコインは多様な施策によりユースケースを拡大し、実需を増加させることで資産価値の向上を図ります。定期的にホワイトペーパー及び、ライトペーパーを開示することで資産の信用を向上させます。



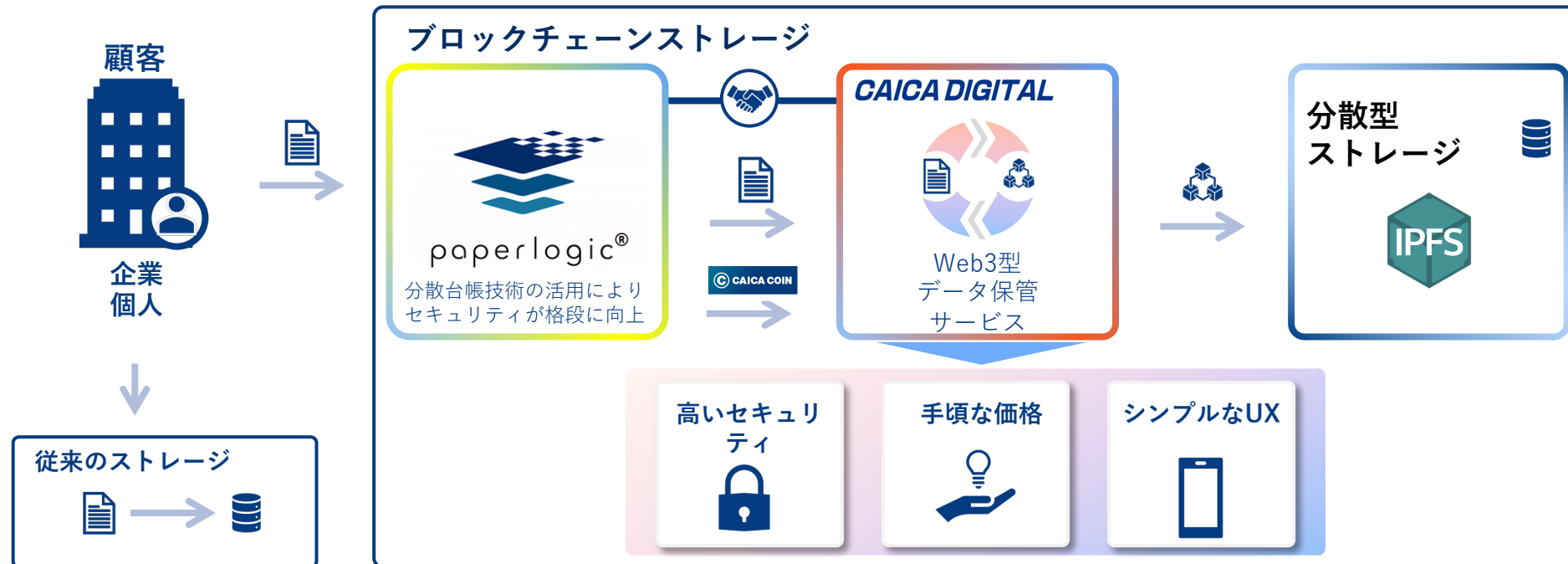
## ライトペーパー最新版公開



[https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2023/01/20230106\\_2\\_oshirase.pdf](https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2023/01/20230106_2_oshirase.pdf)

## カイクォインを活用したWeb3型のデータ保管サービスを提供開始

当社の発行するカイクォイン、及びブロックチェーンの分散型ストレージ技術を活用し、改ざん不可能かつ永続的な運用が可能な電子帳簿サービスを開始しました。現在、利用者に提供するインターフェースの開発に取り組んでおり、今後の事業拡大を計画しております。本サービスはペーパーロジック社への採用が決定しております。



2023年11月6日、11月28日リリース

## Zaif INO取扱NFT拡充

Zaif INOにて、『DUO NFT』コラボコレクション「DUO Collab Collection BITCONUSI ver.」及び、賞金付きバトロワレースゲーム Climbers（クライマーズ）のランドNFT第二弾のNFTの販売を開始しました。引続きGameFi関連をはじめとした各種NFTの取扱いを拡充し、Zaif INOの取扱高向上を図ることで、Web3業界のパイオニアとして拡大してまいります。



[https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231106\\_1\\_oshirase.pdf](https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231106_1_oshirase.pdf)

[https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231128\\_1\\_oshirase.pdf](https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231128_1_oshirase.pdf)



## Zaif INOのカイカコイン決済機能実装完了

「Zaif INO」においてカイカコインによる決済機能を実装し、カイカコインでNFTを購入することができるようになりました。またカイカコインを用いて購入した場合、ディスカウントなどの様々な特典が適応されます。



①作品出展

Zaif

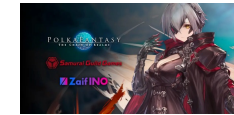
© CAICA COIN 購入



© CAICA COIN 決済

③NFT

Zaif INO



②作品の販売



## カイクォインで購入可能なNFT第一弾「Zaif INOデジタルプレミアムチケット」販売

カイクォイン山分け企画の参加権、今後販売を予定しているオリジナルNFTプレセールAL確定枠権、オリジナルNFT先行情報取得権、ホルダー限定コミュニティ参加権等、様々な権利を内包するZaif INOオリジナルNFT、Zaif INOデジタルプレミアムチケットの販売を決定しました。



The advertisement features a dark blue background with a glowing purple and pink 'Zaif INO' logo. A stylized digital ticket is shown at an angle, displaying the number '66162926293930'. A white box on the left contains the following information:

- 発行枚数 200枚
- 販売価格 100 MATIC  
2,000 CICC

Three crown icons precede the following text:

- コイン山分け企画参加権
- オリジナルNFT AL確定枠
- NFT山分け企画参加権

At the bottom right, a small note reads: ※内容は予告なく変わる可能性があります。



01

概要

02

2023年10月期末決算

03

中期経営計画

04

トピックス

05

Appendix

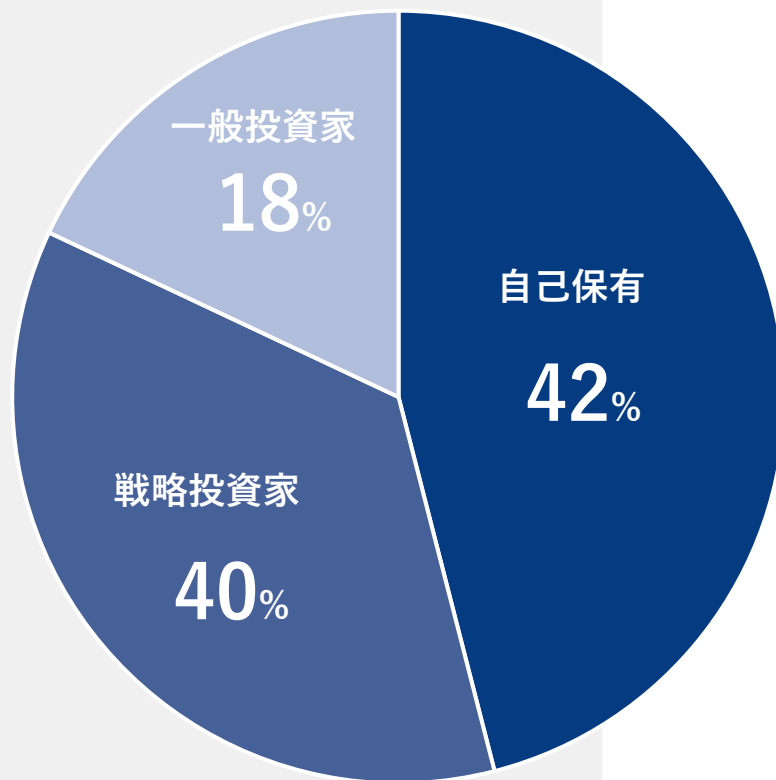


## カイカコインとは

株式会社CAICA DIGITAL(証券コード：2315)が発行するイーサリアムネットワーク上で運用されるERC20規格に準拠した暗号資産です。2023年にはPolygon対応を完了し、マルチチェーン対応のコインへと進化しています。また2023年10月現在、国内暗号資産交換所Zaif及び、海外取引所FinexBoxに上場しています。

カイカコインは上場企業CAICA DIGITALが発行し、7年に及ぶ運用実績を持つアルトコインです。

CAICA DIGITALの責任のもと活用シーンの増加に資することでさらなるカイカコインの価値向上に努めてまいります。



## カイカコイン発行状況

発行可能枚数	300百万CICC
上場取引市場	Zaif(国内) FinexBox(海外)
時価総額※1	1,440百万円
取引価格※1	4.8JPY/CICC

1. 12月17日現在の時価、及び現在時価を参考に算出

# バリューアップの三つの視点

01

## 市場環境好転

BTC価格の上昇、金利のピークアウトなどカイカコインにとって好材料となる市場環境が整いつつあると考えます。

02

## 実績と信頼

数多に存在するアルトコインの中で、カイカコインは約7年間に渡り上場企業の当社が運営してきた実績を誇ります。

03

## 用途拡大に伴う需要の増加

カイカコインはGameFiで活用されるゲームコインを目指しております。ゲームコインとしての利便性が拡がり、需要が増すことで価格の上昇が見込めると考えます。

## 本資料について

- 本資料は、株式会社CAICA DIGITAL（以下、当社）の今後の中期経営計画に関する情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行って頂きますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 本資料には、当社および連結子会社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。